

切磋琢磨



石岡市立八郷中学校
第2学年通信 No.7
2022. 9. 14

体育祭頑張りました！

9月7日(水)体育祭が実施されました。縦割りクラスの団対抗ということで、1学期から練習を重ねてきました。午前中での開催となりましたが、学級や団で一丸となって頑張る姿は感動的で、心に残る体育祭となりました。そして、生徒が生き生きと活動する姿を久しぶりに見ることができ、嬉しく思います。この体育祭で得た学級での絆をより深め、今後の生活へ生かしてほしいと思います。

出場した種目と結果

- ・ウーバーボール(ボール運び)
4組(黒凰団)
- ・シン・カリビトマン(借り人競走)
4組(黒凰団)
- ・繋ごう!絆のバトン!(団対抗リレー)
女子の部 優勝 1組(黄虎団)
男子の部 優勝 4組(黒凰団)
★総合優勝 4組(黒凰団)



平和大使報告会

今年度、石岡市平和大使派遣事業が行われました。石岡市の中学生を代表して、8月5日(金)6日(土)稲見颯太さんと海老沢葉月さんが広島市へ派遣されました。平和記念式典への参列や平和記念資料館の見学、原爆ドーム・原爆死没者慰霊碑献花・千羽鶴献納、平和の集いへの参加などを通して、戦争の悲惨さや命の尊さを学び、平和メッセージにまとめました。8月19日には石岡市役所メロディアスホールで市長へ報告会を行いました。そして9月9日(金)には、学校でも全校生徒へ報告し、戦争の悲惨さや平和の大切さ、命の尊さについて考えました。下の内容は、2名のそれぞれの平和メッセージをまとめた内容です。

稲見 颯太

私は実際に行き、直接この目で色々なものを見たことで、原爆や戦争、平和についてより深く理解することができました。それは、平和とは全人類が意識し、大事にしなければいけないものということです。今も世界各地で戦争や紛争が起き、平和が失われている状況があります。この状況を変えることはとても難しいことです。だからといってそれを黙って見過ごすわけにはいきません。私たちにも何かできることがあるはずで、私たち一人一人にはそれをやるだけの力があります。原爆や戦争について知り、向き合い、行動に移していくことで世界は少しずつ平和へと向かって進んでいくはずで、待っているだけでは何も変わりません。被爆者の方々が伝えてくれた事実を、思いを、今度は私たちがより多くの人に伝えていく必要があります。身近なことを変えていくだけでも効果はあると思います。「他者のことを積極的に受け入れていくこと。」そうするだけでも少しずつ世界は平和になっていくはずで、そして、この些細な活動が広がっていけば世界中の平和への大きな一歩になるはずで、

海老沢 葉月

今回の体験を通して、「武力」ではなく「話し合う」ことを大切に、他者との和解によってこれからの平和を担っていくこと。

日々の生活の中で感謝と思いやりを大切に、家族、友達、先生など多くの人との関わりの中で少しずつ平和を増やしていくこと。

一人一人の違いを認め合い、相手の思いや立場について考え、お互いを思いやること。

またそれらを実行し「核兵器を持たずとも、戦争を行わずとも人々は協力して生きていくことができる」ということを証明すること。を大切に、またこれらの考えを身近な人と共有することで、日々の生活の中での平和を作り続けていきます。

